



図書館だより

志木市立志木第二中学校図書館だより 令和8年3月号

校長 島村 直人
司書教諭 松原 正貴
学校図書員 ひろみつ 弘光しのぶ

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんは、コロナ禍で中止していたホンデリングを、1年生から聞くことのできた学年です。1年生では各クラス3回ずつ、2年生では各クラス4回ずつ、3年生では各クラス7回ずつでした。本を読んでもらったときに、情景や心情を思い描いて、本っておもしろいなと感じましたか。自分では選ばない本を読んでもらったときに、その本の続きや同じ作者の本を読みたいと思いましたか。

これからのたくさんの本との出会いが、みなさんの人生を幸せなものにしてくれますように願っています。



今年度も図書ボランティアの皆さんのご協力をいただき、延べ84回のホンデリングを行うことができました。

選書や読むページの選定、読み合わせ、練習とたくさんの時間を使って準備をし、ホンデリング当日のための仕事の調整など、本当にありがとうございました。

生徒たちの心に残った本もたくさんあったと思います。

R. 7 ホンデリングで読んでもらった本

- 1年** 『ルドルフとイッパイアッテナ』 『カラフル』 『兎の眼』 『また、同じ夢を見ていた』 『生きもののおきて』 『マタタビ町は猫びより』 『武揚伝』 『かしこすぎた大臣』 『銀河鉄道の夜』 『のっけから失礼します』 『強運の持ち主』 『蛙餅』 『マドレーヌの体験』 『人生を変えてくれたペンギン』
- 2年** 『アイスプラネット』 『羊と鋼の森』 『走れ!移動図書館』 『頭の打ちどころが悪かった熊の話』 『死神の名付け親』 『ひかりの魔女』 『十七歳のサイン会』 『君と会えたから…。』 『夜の子どもたち』 『カブキブ!』 『僕たちのセンス・オブ・ワンダー』 『14歳、明日の時間割』 『炎環』 『草之丞の話』 『西の魔女が死んだ』 『この夏の星を見る』 『動物たちは何をしゃべっているのか』 『Link』
- 3年** 『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』 『日本のデザイン』 『ドミノ』 『旅する本』 『みょうが宿・うば捨て山』 『24のひらめきと僕らの季節』 『コンチキ号漂流記』 『やなせたかしの生涯』 『蜘蛛の糸』 『鹿男あをによし』 『奇跡の椅子』 『アルケミスト』 『チョコレートはなぜおいしいのか』 『魚心あれば』 『羅生門』 『パンドラ』 『犬部!』 『十二月の都大路上下ル』 『デューク』

R. 7年度の貸出冊数(4/1~2/23)

1年生	1,391冊
2年生	1,229冊
3年生	821冊
その他貸出し	384冊
合計	3,825冊

3年生の3年間の貸出し冊数ベスト3

第1位	K.Rさん	1,000冊
第2位	T.Kさん	422冊
第3位	M.Kさん	394冊

図書委員会では、貸出し冊数を増やすために2月19日から、一度に借りられる冊数を、8冊に増やしました。また、気軽に返却できるように、各学年のフロアに返却 box を置く準備をしています。

